

こころん だより

2022
夏号
Vol.21



こころん



日高村のキャラクターもへいくんは江戸時代中期に活躍した日高村出身の忍者がモデル。正義感と行動力にあふれるもへいちゃんと、こころんが日高村の新庁舎で出会いました！

特集1

7月10日から7月20日は
「部落差別をなくする運動」強調旬間です
～同和問題の早期解決に向けて～

特集2

おでかけ
こころん

誰ひとり取り残されない未来へ
～日高村まるごとデジタル化事業の目指すもの～

7月10日から7月20日は 「部落差別をなくする運動」強調旬間です ～同和問題の早期解決に向けて～

文：高知県 人権・男女共同参画課

すべての人々がそれぞれ一人の人間として、人を大切にし、大切にされる人権尊重の社会をつくることは、私たちみんなの願いです。

高知県では、平成10年4月に「高知県人権尊重の社会づくり条例」を施行し、平成12年3月には「高知県人権施策基本方針」を策定して、人権教育や人権啓発などの取組を進めています。

しかしながら、私たちの社会には、部落差別をはじめ、虐待事件やいじめ、様々なハラスメントなど深刻な人権問題が存在しています。

近年では、誰もが被害者となりうる「犯罪被害者等」への人権侵害や、性的指向・性自認に基づく差別、インターネットの普及に伴うネット上での誹謗中傷・差別的な書き込みなどの人権侵害、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴ういわゆる「コロナ差別」など、新たな人権課題も発生しています。

同和問題とは

同和問題は、「そこに生まれた」というただそれだけの理由によって、人間として幸せに生きる権利や自由を侵害され、社会的不利益を受けてきた問題です。

この問題は、昔の話ではありません。限られた地域や一部の人たちだけの問題でもありません。インターネット上での差別を助長する悪質な書き込みなどにより、今なお傷つけられている人がいます。

「部落差別をなくする運動」 強調旬間とは

「部落差別解消推進法」をご存じですか？

平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」が、公布・施行されました。この法律では、現在もなお部落差別が存在し、その解消のために教育及び啓発の果たす役割が大きいことが示されています。

高知県では、毎年7月10日から20日までを、「部落差別をなくする運動」強調旬間と定めています。この期間には、県や市町村などの様々な機関において、同和問題についての理解と認識を深め、この問題の早期解決を図るための取組が行われています。

一人ひとりの心に人権意識を

人権とは誰もが幸せになるための権利です。この旬間をきっかけに、同和問題をはじめとする様々な人権問題について、遠い「誰か」のことではなく、「自分」の身近にある問題として考えてみませんか。



▶ この記事に関するお問合せ先 高知県 人権・男女共同参画課 ☎ 088-823-9804

「部落差別をなくする運動」強調旬間イベントのお知らせ



主催：高知県・高知県教育委員会・
(公財) 高知県人権啓発センター

7月19日(火) 14:00～16:00 ※開場13:30～
手話通訳あり
参加費無料 定員150名(要申込)

第49回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業 講演会「無関心でいられても無関係ではられない人権問題 ～インターネット上の部落差別の現状等から考える～」

講師 松村 元樹 さん
公益財団法人 反差別・人権研究所みえ
常務理事兼事務局長
(一社) 部落解放・人権研究所理事、東大阪市人権尊
重のまちづくり審議会委員、名張市差別撤廃審議会委
員、公益社団法人三重県人権教育研究協議会理事

会場 高知会館(白鳳)
(高知市本町5丁目6-42／TEL 088-823-7123)

■ 申し込み・お問合せ先：
(公財) 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15
TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp
【申込方法】 電話・FAX・Eメールで、以下の情報をお知らせください。
氏名／参加人数／代表者の連絡先(日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス)

▶ 各市町村主催の催し すべて参加費無料

高知市 7月6日(水) 14:00～15:30
演題 講師 「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 記念講演会
駒井 忠之さん(水平社博物館館長)
会場 定員 高知県立県民文化ホール(グリーンホール)
定員250名 要申込／電話、FAX、申込受付フォームにて申込
■ お問合せ先：高知市 人権同和・男女共同参画課 ☎ 088-823-9449

土佐清水市 7月7日(木) 14:00～15:30
演題 講師 人権啓発講演会(中学校総見)
坂田 かおりさん(部落解放同盟鳥取県連合会女性部副部長/人権ディクルート代表)
会場 定員 ①清水中学校(中学生) 定員250名
②中央公民館(一般、YouTubeライブ配信) 定員100名
コロナの状況によっては予約優先
■ お問合せ先：土佐清水市 じんけん課 ☎ 0880-82-1124

宿毛市 7月10日(日) 9:30～11:30
演題 講師 令和4年度「部落差別をなくする運動」強調旬間記念事業
記念講演「3つの壁を打ち破ろう!—差別問題理解の基礎基本—」
奥田 均さん(近畿大学名誉教授、社会学者)
会場 定員 宿毛市立宿毛文教センター
定員166名 要申込／電話にて申込
■ お問合せ先：宿毛市 人権推進課 ☎ 0880-62-1258

室戸市 7月12日(火) 14:00～15:30
演題 講師 「部落差別をなくする運動」強調旬間記念講演会
人権コンサート 繁樹 義一さん
会場 定員 室戸市保健福祉センターやすらぎ 夢ひろば
定員250名 申込不要
■ お問合せ先：室戸市 人権啓発課 ☎ 0887-22-5115

須崎市 7月12日(火) 15:00～ ※開場14:30～
演題 講師 「部落差別をなくする運動」強調旬間一全体講演会—
全国水平社創立100周年の歴史的意義
朝治 武さん(大阪人権博物館館長)
会場 定員 須崎市立市民文化会館 大会議室
定員200名程度 申込不要
■ お問合せ先：須崎市立人権交流センター ☎ 0889-42-1420

黒潮町 7月12日(火) 19:00～20:30
演題 講師 第49回「部落差別をなくする運動」強調旬間 in 黒潮町
松村 智広さん(みえ人権教育・啓発研究会代表)
会場 定員 大方あかつき館
定員100名 申込不要
■ お問合せ先：黒潮町 地域住民課人権啓発係 ☎ 0880-55-3113

四万十市 7月12日(火) 13:30～15:00
演題 講師 部落差別をなくする運動強調旬間講演会
神野 博敬さん
会場 定員 四万十市立文化センター
定員50名程度 要申込／電話、FAXで申込
■ お問合せ先：四万十市 市民・人権課 人権啓発センター ☎ 0880-34-5751

高知市 7月13日(水) 13:30～15:00
演題 講師 「部落差別をなくする運動」強調旬間事業 地域講演会
三木 幸美さん(公益財団法人とよなか国際交流協会職員)
会場 定員 春野弘岡中市民会館
定員50名程度 申込不要
■ お問合せ先：高知市 人権同和・男女共同参画課 ☎ 088-823-9449

香南市 7月16日(土) 16:00～17:30
演題 講師 「部落差別をなくする運動」強調旬間事業
太鼓集団「怒」公演会「出会い・つながり・絆」
会場 定員 香南市夜須公民館(マリンホール)
定員250名 要申込／電話にて申込
■ お問合せ先：香南市 人権課 ☎ 0887-57-8507

南国市 7月11日(月)～7月20日(水)
内容 「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業
人権パネル展
会場 南国市立スポーツセンター
■ お問合せ先：南国市 総務課 じんけん係 ☎ 088-864-0160

人口約5,000人、高齢化率43%を超える日高村は、2021年5月に日本で初めてスマートフォン普及率100%を目指す自治体宣言を行い、村まるごとデジタル化事業に取り組んできました。日高村が目指すDX(デジタルトランスフォーメーション／先進デジタル技術の浸透によって生活をより良いものへと変革させること)とはどんなものなのか、こころんがお話を聞きました。



◀ お話してくれた人
日高村役場 企画課
安岡 周総 さん



住民説明会。初めてスマホを使う住民に使い方を説明



スマホよろず相談所の様子



住民が使用しているスマホアプリ

スマホ普及率100%から デジタル化を推進

日高村まるごとデジタル化事業では、DXの前提として、まず村民のスマートフォン普及率100%を目標にしています。事業の検討開始当時の村のスマホ普及率は67%で、数年後にガラケーの3G回線が終了した途端、約3割の人が情報弱者になると見えていたからです。実はこの3割は高齢者や低所得者など行政サービスを特に必要とする層と被っており、この人たちを取り残さないことが課題としてありました。

また、今後の急激な人口減少によって行政サービスのコストは跳ね上がり、公助の仕組みの維持が厳しくなることが予測されています。スマホ活用によって住民の情報取得力・発信力が高まれば、個々の自助力や地域の共助力も大きくなり、村の持続可能性につながると考えています。

健康にも財布にも うれしい仕組みを地域通貨で運用

では実際にどんな取り組みをしているかというと、普及事業では初めてスマホを購入する人に、村内のお店で使える地域通貨で5,000円または12,580円をポイント還元しています。これにより端末代は実質0円になります。また月々の維持費は健康活動とリンクさせ、厚生労働省が推奨する年齢ごとの目標歩数を達成すると一日40ポイントを還元。30日歩けば1,200ポイントになり、スマホ最安プランの費用をカバーできます。これらは「ポケットヘルスケア」、「chiica」というアプリと連動しており、歩いて健康情報を記録して貯まったポイントでお買い物をしてもらうことで、村全体が元気になっていくという仕組みになっています。

防災アプリは県と連携して

もう一つ取り組んでいるのが、防災アプリの導入です。多くの自治体では全戸に緊急通報装置を配布し、音声で防災情報を届けています。しかし、いつどこにいてもその人に合ったかたちで防災情報が届けられるのはスマホです。そこで、高知県が開発・運用している「高知県防災アプリ」の活用を推進しています。命を守るためには、個人のできることをどう増やしていくかが大事。その一つがDXだと考えています。

DXで、持続可能な未来を目指す

とはいえ、デジタル化ですべての課題を解決できるわけではありません。認知機能や精神、身体の障害、病気などがあってスマホを使えない方、推奨歩数を歩けない方などいろいろあります。様々なご意見・ご指摘には、事業をやっているながら耳を傾け、改善策を考えていく予定です。

例えば先述の緊急通報装置は、日高村では年間約3,000～4,000万円の維持費がかかっていますが、もしこの事業を進める中で一部見直しなどができれば、浮いた費用はデジタル化が困難な人たちを支えるマンパワーに回すことも可能です。DXを鍵に、誰もが安心して暮らし続けていける日高村に進化すること。それが私たちの目指す未来です。



発見こころん

日高村で導入を推進している
スマホアプリを教えてください！



「高知県防災アプリ」

気象情報や避難情報をプッシュ通知。防災マップや安否確認機能もある。こどもモード、高齢者モードに切り替え可能。



「ポケットヘルスケア」

KDDIの提供する健康アプリ。日々の運動量の記録やオンライン受診に対応。



「chiica(チーカ)」

地域で貯まる・使える「地域通貨」のプラットフォームサービス。



「LINE」

無料でメッセージのやり取り、音声通話、ビデオ通話が可能。



デジタル化で一人ひとりの
できることを増やしていくこと。
結果として誰ひとり取り残さないこと。
それが大事なんだね！



日高村役場

住所／高知県高岡郡日高村本郷61-1 TEL／0889-24-5126(企画室)

2021年5月に、KDDI(株)と(株)チェンジ、日高村で包括協定を締結して「村まるごとデジタル化事業」を開始。課題が見つかる度に事業途中でも何度も改善するアジャイル型で取り組みを進め、現在のスマホ所有率は76%と全国平均を約10%上回っている。





活用してね！

人権研修の講師を派遣します

高知県人権啓発センターでは、県内で実施される人権研修に講師を派遣しています。

講師料
無料

人権研修のための
出前講座
講師がお伺いします！

県内のあらゆる集まりに
ご活用下さい！

職場 地域 PTA

人権問題に関心がある
人間関係を良くしたい
自分を高めたい
職場での研修を取り入れたい

まずはお気軽にご相談下さい！

高知県人権啓発センター
高知市本町4-1-37 TEL (088) 821-4681
●月～金曜日 9:30～17:15 電話・メールでのご相談（土・日・祝日休）



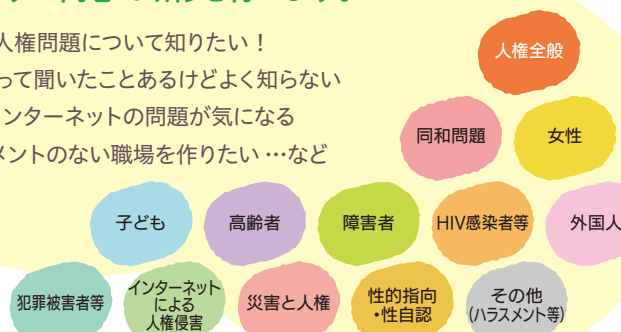
■ 派遣先は？

企業（介護施設、医療関係、運輸関係、製造業、保険会社など）や市町村、国の機関や公社などの公的団体、PTAなどが実施するさまざまな研修や学習の場に派遣を行っています。

■ 研修で扱う内容は？

ご希望のテーマに沿った
分かりやすい内容で研修を行います。

- ☑ 身近な人権問題について知りたい！
- ☑ LGBTsって聞いたことあるけどよく知らない
- ☑ 最近、インターネットの問題が気になる
- ☑ ハラスメントのない職場を作りたい…など



■ 研修後の感想

自分がよかれと思っていたことが、実は相手の気持ちを傷つけてしまっていることもあるかもしれない、と自分の普段の行いを振り返るきっかけになりました。
（社会福祉法人職員）

「出会う、知る、考える、そして自分と重ねてみる」ことは凄く大切なことであると感じました。普段から意識して、知っていく、日頃から考えていくことを心がけていこうと思いました。
（市民対象講座参加者）

▶ 研修の依頼方法は？

まずは電話にてご相談ください

TEL 088-821-4681

〈受付時間〉月～金 8:30～17:15
（祝祭日・年末年始を除く）電話にて
ご相談依頼内容
の決定申込書の
送付原則
研修1ヶ月前
までに

実施要項・申込書はホームページに掲載しています。

※交通費（旅費）は、原則として実費をご負担いただいておりますが、どうしても困難な場合はご相談ください。
※依頼が研修予定日直前になると対応が難しくなります。できるだけ余裕をもって依頼をお願いします。

貸出します！

「こころん」の 着ぐるみ

利用無料

みんなに会えると
うれしいな！

人権を大切なものとして身近に感じてもらえるきっかけに、また、人権について楽しく学び、考える機会として、ぜひご活用ください。

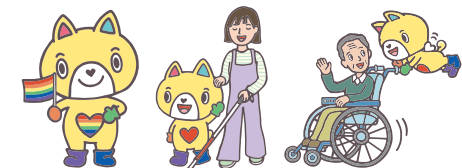
バックスタイル



こころん着ぐるみ

使ってね！

「こころん」のイラスト 新しいデザインが増えました！



「こころん」のイラストは、人権啓発推進のために広くご使用いただけます。ホームページの仕様規定をお読みいただき、啓発物や挿絵などにダウンロードして使ってください。

こころん使用についての
ページはこちら

上映会

8月7日(日) 13:30～15:30 ※受付13:00～

令和4年度 人権啓発研修 第1回ハートフルセミナー

映画「ひまわり 50周年HDレストア版」上映会

会場 高知県立人権啓発センター6階ホール

参加費無料 定員150名（予約優先）

〈作品紹介〉

第二次世界大戦下のイタリア。ジョバンナ（ソフィア・ローレン）とアントニオ（マルチェロ・マストロヤンニ）は、ナポリの海岸で恋におち結婚する。その後、アントニオは厳しいソ連の最前線に送られ行方不明になってしまうが、ジョバンナは何年経っても戻らない夫のことを生きて信じて疑わない。終戦後、手がかりもないままアントニオを探しに単身ソ連へ渡るジョバンナ。しかし、広大なひまわり畑の果てに待っていたのは…。

出演：ソフィア・ローレン マルチェロ・マストロヤンニ
監督：ヴィットリオ・デ・シーカ 音楽：ヘンリー・マンシーニ（1970年／イタリア／107分）

お申込み・お問合せは…

公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

【申込方法】 電話・FAX・Eメールで、以下の情報をお知らせください。
氏名／参加人数／代表者の連絡先（日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス）



募集 令和4年度人権ふれあい支援事業について

高知県内のNPO、ボランティア団体及び民間の団体等が人権意識の向上を目的とした事業を行う場合、その経費について予算の範囲内で支援をしています。

※令和4年度予算総額60万円

【募集期間】6月13日(月)～7月22日(金)

【支援決定】審査会の審査を経て、8月上旬に通知します。

【事業区分】次の区分により申請を受け、支援対象事業及び支援金額を決定します。

区分	支援金額・支援率
① 申請金額が5万円以下の事業	全額（支援対象外経費を除く）
② 申請金額が5万円を超える事業	1事業当たり上限20万円／支援対象経費の80%以内

★5万円以下の事業については全額（支援対象外経費を除く）を支援します。
人権メッセージや人権標語を入れたイベントポスター作成など、様々な事業にご活用ください。

「事業実施要領」及び申請書はホームページよりダウンロードできます。詳細をご確認の上、申請書を郵送またはご持参ください。

じんけんライブラリー情報

じんけんライブラリーでは、図書（専門書からコミックまで幅広く所蔵）、DVD・VHS、人権啓発パネルの貸出を行っています。



新着図書紹介

『ネット人権侵害と部落差別の現実－モニタリングと今後の課題－』
部落差別解消マニュアル② （一社）部落解放・人権研究所 編・発行

『笑える革命－笑えない「社会課題」の見え方が、ぐらりと変わるプロジェクト全解説－』小国 士朗 著（光文社）

『ハンセン病問題から学び、伝える 差別のない社会をつくる人権学習』
ハンセン病市民学会教育部会 編（清水書院）



新着DVD紹介

『考えてみよう差別の歴史シリーズ』④「解放令」と近代の差別
⑤全国水平社の創立と解放運動の展開 ⑥戦後の部落問題とさまざまな差別

『レインボーストーリーズ LGBTsと社会』（全4巻）

「じんけんライブラリー検索」はこちら

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。

http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/



県民の皆さまへ

STOP！コロナ差別

新型コロナウイルスから
こころも体も守りましょう

感染は自分や大切な家族にも起こりうることです。誰もが不安やストレスを抱えています。こうした心の変化は誰にでも起こる自然な反応です。

新型コロナウイルスによって、こころまで傷つけないよう思いやりの気持ちを持ってみんなで乗り越えていきましょう。

公式発表に基づかない不確かな情報をSNS等で拡散することは慎んでください。また、こうした情報に惑わされないようご注意ください。



NEWS

1



令和4年度の人権啓発ポスターができました！

人権は、一人ひとりが人間らしく生きていくために、生まれながらにして持っている大切な権利です。「人権を、一人ひとりの心で育みましょう」というメッセージが込められています。

NEWS

2



【掲載内容】

- ・岐路に立つ部落差別認識 (内田龍史)
- ・「他者も自分」の想像力を (廣瀬淳一)
- ・幸せになるためのツール (北村大河)
- ・コロナ禍こそ「絆」必要 (吉川清志)
- ・認知症である前に、人なんだよな (小国士朗)
- … など

New！「人権コラム集～心呼吸～」

令和2年度から3年度にかけて高知新聞に掲載した「人権啓発シリーズ」(様々な人権に関するコラム) 14回分と、「こころんだより」の特集記事を収録しています。ぜひご活用ください。

☆ご希望の方にはお送りします。ご連絡ください。

■ ご利用案内

6F

ホール (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00～21:00 (年末年始を除く)

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝祭日
午前	午後	全日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

- 冷暖房使用料 … 1時間 / 620円
- 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。
- Wi-Fiも利用できます。



6F ホール

5F

じんけんライブラリー (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。
ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始を除く) 9:00～17:00

- 利用方法
- 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
 - 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



団体図書貸出(こころんブック便)について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



5F じんけんライブラリー

4F

視聴覚室 (利用無料/収容人員 48名)

人権に関する研修等のにのみ使用できます。



1F 入口看板

「こころん」は高知県人権啓発センターの
マスコットキャラクターです
★ 着ぐるみの貸出もしています



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ: www.kochi-jinken.or.jp

Webで情報発信中!



MAP



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3～5分

〔事務局〕〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp
〔開所時間〕月～金 8:30～17:15 (祝祭日・年末年始を除く)

vol.

21

2022
Summer